

ゴールデン・グローブ賞 ノミネート作品が発表されました！



▼さあ年が明けると、いよいよ賞レースに絡む秀作が続々公開されます。先日発表されたゴールデン・グローブ賞ノミネート作品の中で、最多7部門を獲得したのはギレルモ・デル・トロ監督の『シェイプ・オブ・ウォーター』(3月1日公開)。米ソ冷戦時代の米国政府極秘研究施設を舞台に、捕らえられた半魚人と口の利けない清掃員との切ない恋を描いた、異色のダークファンタジー。

▼続く6部門ノミネートは、スビルバーグ監督がトム・ハンクスとメリル・ストリープという超大物二人を主演に据えた『ペンタゴン・ペーパーズ 最高機密文書』(3月30日公開)。泥沼化するベトナム戦争に関する最高機密文書が存在がリークされ、それを政府がもみ消そうとする一方で、ワシントン・ポスト紙とNYタイムズ紙が真実を伝えるためにライバル関係を越えて連携するという社会派ドラマです。

▼『スリー・ビルボード』(2月1日公開)も主要部門をしっかりと押さえての堂々6部門ノミネートです。本編を見ましたが、重い題材を扱いながら、絶妙にデフォルメされた人間描写がブラッくな笑いを誘う見事な演出に唸りました。

▼『フランシス・ハ』で愛すベきグダグダ女子を演じたグレッタ・ガーウィックの監督デビュー作『レディ・バード(原題)』(公開日未定)は、主要4部門にノミネート。田舎を出て都会の大学に進学したい女子高生をシアラ・ロームナが演じて、笑いと共感の風が吹き荒れています。

▼そして今回のサプライズは、セクハラ疑惑のケヴィン・スペイシーが出演していることでお蔵入りも懸念された、リドリ・スコット監督による大富豪一族の誘拐劇『オール・ザ・マネー・イン・ザ・ワールド(原題)』(初夏公開予定)。わずか一カ月という早業で代役を立てて撮影をし直し、監督賞と主演女優賞(ミシェル・ウィリアムズ)のみならず、代役のクリストファー・プラマーまでもが助演男優賞にノミネートされました。

▼映画界を華やかに彩る各賞が、今回もアカデミー賞へ向けてどんなレースを見せてくれるのか楽しみですね！

▼『百円の恋』の監督・脚本家、武正晴と足立紳が大人向けの良質な喜劇に挑戦。W主演の中井貴一&佐々木蔵之介はもちろん、脇を固める芸達者たちも魅せてくれます！まさに初笑いにびったりの開運コメディ!!

▼『スター・ウォーズ』新シリーズのフィン役など、活躍目覚

ましいジョン・ボイエガが警察と市民の間に立たされる黒人警官を熱演。『ハート・ロッカー』で女性初のアカデミー賞監督となったキャスリン・ピグロウの最高傑作との呼び声も高い、見る者を暴動事件の渦中に叩き込む実録サスペンス。

監製 キャスリン・ピグロウ 脚 マーク・ボールド
出 ジョン・ボイエガ/ウィル・ポルター
2017/アメリカ/2h23

劇場案内

フォーラム仙台
〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-1-33 TEL 022-728-7866

上記駐車場ご利用のお客様 ※受付の際、駐車券をご提示ください
■当日料金(一般1,800円・学生1,500円)ご入場の方…映画の時間分無料
■前売券・各種サービス料金でご入場の方…1時間100円

チネ・ラヴィータ
〒983-0852 仙台市宮城野区権岡2-1-25 BiVi仙台駅東口2F TEL 022-299-5555

お車で D-Parking BiVi 仙台駅東口 …4時間無料 ※受付の際、駐車券をご提示ください。
バイク・原付で 仙台駅東口地下駐輪場 …1日100円 ※24:30に閉まります。
自転車で BiVi仙台駅東口9F駐輪場 …24時間無料

料金		
一般	1,800円	
大学・専門学校	1,500円	
小学・中学・高校	1,000円	
幼児(3歳以上)	1,000円	
割引サービス 1,100円		
シニア割引 毎日 60歳以上 ※要証明書提示	ファーストデイ 毎月1日	フォーラムデイ 毎月15日
レディースデイ 毎週 火曜	メンズデイ 毎週 水曜	留学生割引 毎日 ※要学生証・外国人登録証提示
割引サービス 1,300円		割引サービス 1,000円
モーニングショー 平日午前1回目	障がい者割引 障がい者手帳ご提示の方とお連れの方2名様まで	夫婦50割引 毎日 どちらかが50歳以上 ※要証明書提示
レイトショー 毎日 20時以降	おふたりで 2,200円	

※3D作品は料金+300円となります。
※学生証のご提示がないと一般料金になります。
※作品によっては特別料金の場合がございます。※詳しい内容はホームページをご覧ください。

さあ、今月は何を観よう？

フォーラム

マンスリーガイド

1

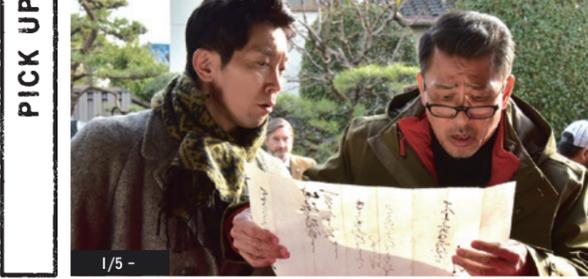
フォーラム仙台 | チネ・ラヴィータ

JANUARY 2018
no.202

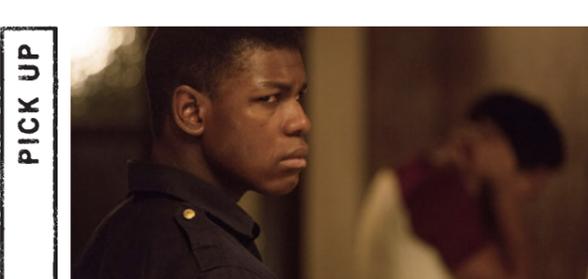
謹賀新年



フォーラム仙台 (3スクリーン)
チネ・ラヴィータ (3スクリーン)
http://forum-movie.net/sendai



嘘八百
大物狙いで空回ってばかりの古物商・則夫と、腕は立つが売れない陶芸家の佐輔。大物鑑定士に一杯食わされた2人はコンビを組んで一発逆転を企む。“幻の利休の茶器”の本物以上の二セ物を作って、仕返しと一獲千金を狙うという計画だが、そんな2人が仕掛けた大勝負は文化庁まで巻き込んだ大騒動に発展。茶と商人の街、大阪・堺を舞台に二転三



デトロイト
1967年7月、ミシガン州デトロイトで黒人市民と警官の対立が大規模な暴動に発展。街は戦場と化した。そして暴動発生から3日目の夜、とあるモーテルで銃声が響き、通報を受けた警官と州兵が多数駆けつける。彼らは現場に居合わせた黒人客たちに容赦ない暴力的な尋問を始めるが…。『スター・ウォーズ』新シリーズのフィン役など、活躍目覚

フォーラム仙台

12	1	2
30 土	31 日	1 月
2 火	3 水	4 木
5 金	6 土	7 日
8 月	9 火	10 水
11 木	12 金	13 土
14 日	15 月	16 火
17 水	18 木	19 金
20 土	21 日	22 月
23 火	24 水	25 木
26 金	27 土	28 日
29 月	30 火	31 水
1 木	2 金	3 土
4 日	5 月	6 火
7 水	8 木	9 金

勝手にふるえてろ 26金 デトロイト
30土 不都合な真実2 放置された地球 13土 希望のかなた 27土 坂本龍一 PERFORMANCE IN NEW YORK:async
30土 人生はシネマティック! 13土 花筐 (はながたみ) / HANAGATAMI 3土 羊の木 2/9(金) - 『マンハント』
30土 猫が教えてくれたこと 20土 彼女が目覚めるその日まで 3土 目撃者 闇の中の瞳
ビジランテ 5金 キングスマン：ゴールデン・サークル 3土 Mr.Long ミスター・ロン
ダンシング・ベートヴェン 5金 嘘八百
J:ピヨンド・フラメンコ 6土 光 20土 アランフェスの麗しき日々
オリエント急行殺人事件 20土 ルージュの手紙
20土 暹羅ロイヤル・オペラ・ハウスシネマーズン 2017/18 ロイヤル・バレエ『くるみ割り人形』 27土 パーフバリ 王の凱旋

チネ・ラヴィータ

12	1	2
30 土	31 日	1 月
2 火	3 水	4 木
5 金	6 土	7 日
8 月	9 火	10 水
11 木	12 金	13 土
14 日	15 月	16 火
17 水	18 木	19 金
20 土	21 日	22 月
23 火	24 水	25 木
26 金	27 土	28 日
29 月	30 火	31 水
1 木	2 金	3 土
4 日	5 月	6 火
7 水	8 木	9 金

スター・ウォーズ/最後のジェダイ 27土 はじまりのボーイミーツガール
フラットライナーズ 27土 ユダヤ人を救った動物園 アントニーナが愛した命
オール・アイズ・オン・ミー 3土 ローズの秘密の頁 (ページ)
gifted/ギフトド 6土 否定と肯定 20土 恋とボルバキア 3土 マノロ・ブランコ トカゲに靴を作った少年
女神の見えざる手 6土 最低。 20土 オレの獲物はピンラディン 3土 新世紀、パリ・オペラ座
ゲット・アウト 6土 THE LIMIT OF SLEEPING BEAUTY リミット・オブ・スリーピングビューティ 20土 52Hzのラヴソング
セントラル・インテリジェンス 13土 パーティで女の子に話しかけるには 27土 女の一生
13土 悪魔祓い、聖なる儀式 27土 ゴーギャン タヒチ、楽園への旅
13土 ロダン カミーユと永遠のアトリエ 27土 謎の天才画家 ヒエロニムス・ボス

今月の映画人

アキ・カウリスマキ Aki Kaurismäki

最新監督作『希望のかなた』1/13公開

1957年、フィンランド生まれ。『極北の怪異』『黄金時代』を見て映画に目覚め、兄ミカとともに映画制作に関わり始める。83年ドストエフスキーの『罪と罰』で長編映画監督デビュー。代表作は、カウリスマキ映画の二大アイコンであるマッティ・ペロンパーとカティ・オウティネン主演の『バラダイスの夕暮れ』(86)、日本で知られる契機となった『レニングラード・カウボーイズ・ゴー・アメリカ』(89)、全米映画批評家協会賞外国語映画賞の『真夜中の虹』(88)、ベルリン映画祭を沸かせた『マッチ工場の少女』(90)、『ラヴィ・ド・ポエム』(92)、ペロンパー急逝の悲しみの中、初めて明確なハッピーエンドを描いた『浮き雲』(96)、カンヌ映画祭グランプリ&女優賞の『過去のない男』(02)など。小津安二郎やロバール・ブレッソンの美学を継承した厳格な構図の固定撮影と極度に抑制された無表情の演技、簡潔な極めた語り口、人を食べたようなユーモアなどから成る独自の様式が全作品で貫かれる。物語は常に社会的弱者の側に立ち、最新作『希望のかなた』は『ル・アープルの靴みがき』(11)に続く難民三部作の第二作とされている。お気に入りの地元ミュージシャンによるライブシーンやカウリスマキ家代々の愛犬が登場するのもトレードマーク。

英国ロイヤル・オペラ・ハウス シネマシーズン 2017/2018

1/20(土) - 1/26(金)

ロイヤル・バレエ 「くるみ割り人形」

振付: ピーター・ライト
音楽: ビョートル・チャイコフスキー
出演: フランチェスカ・ヘイワード
アレクサンダー・キャンベル

鑑賞料金
一般: 3,600円 / 学生: 2,500円